

対話を重視した授業改革と

ICTの有効活用についてvol.2 ～教室の隅々まで授業改革を～

授業改革
055



石狩教育局では、「授業改革055!」の達成に向けたサポート資料として、「対話を重視した授業改革とICTの有効活用について」を発行しています。vol.2の事例のポイントは、多様な情報を収集・整理・分析・まとめ、表現する場面を、ICTの有効活用により、効果的に位置付けた点です。

石狩管内における対話を重視した授業改革とICTの有効活用の実践事例

北広島市立双葉小学校 第5学年 体育



端末のタイムシフトカメラ機能を活用し、撮影した縄跳びの跳び方の画像を確認しながら、グループで話し合いを行い、友達からのアドバイスを参考に、跳び方を工夫していました。

石狩市立石狩八幡小学校 第4学年 算数



自分の考えをノートに書き、カメラで撮影したものを端末で共有し、説明し合う場面を設定しました。友達の考えを参考にすることで、理解を深めていました。

千歳市立みどり台小学校 第1学年 国語



授業で調べた生き物について端末を使ってカードを作成し、生き物の名前や生息している場所、体の特徴などを学級全体で共有し、感想を伝え合っていました。

北広島市立西部中学校 第1学年 国語



作者の思いや一番伝えたかったことについて、ICTを活用し、学級全体で対話する活動を設定しました。友達の意見を自分の考えと比べることで、考えを広げたり深めたりしていました。

【担当から】

今回紹介した4校は、資質・能力の確実な育成に向け、思考を深める場面や話し合いの場面でICTを「有効に活用」し、個別最適な学びと協働的な学びの充実に向けた工夫例です。

管内全ての子どもたちのため、全ての学校で、教室の隅々まで授業改革が行き届くよう、お願いします。

(義務教育指導班 指導主事 仲川 太郎)